

第4回佐渡市地域クラブ活動推進協議会 会議録（2024年3月25日）

（濱崎学校教育課課長補佐）

定刻より早いですが、皆さんお揃いになりましたので、これから令和5年度第4回佐渡市地域クラブ活動推進協議会を開催いたします。年度末の大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。前回に引き続き、協議会設置要綱では会長が議長を務めることになっておりますので、それまでの間、私が司会進行を務めさせていただきます学校教育課の濱崎です。よろしくお願いいたします。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。佐渡市地域クラブ活動推進協議会伊藤会長よりご挨拶申し上げます。

（伊藤会長）

年度末の大変お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。1月に第3回の推進協議会を開催いたしました。前回は、令和6年度に向けて方針が示され、それについての協議を行ってまいりました。今回は本年度最後の協議会となりますが、前回の協議事項であった実施種目等について、また皆様からご意見を頂戴し、令和6年度の地域クラブ活動がより一層活発に進められるよう協議をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（濱崎学校教育課課長補佐）

それでは、次第の報告事項から、会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

（伊藤会長）

次第に従いまして進めさせていただきます。最初に、会議の開催について、本日2名の欠席報告を受けておりますが、過半数に達しておりますので、会議の開催を宣言したいと思います。続いて、傍聴についてですが、議事進行に支障がある場合は退出してもらいますので、詳しくは傍聴を希望される皆様への掲示をご覧くださいと思います。

（伊藤会長）

それでは第2番、報告事項の（1）新1年生への説明について、事務局お願いいたします。

(小田学校教育課指導主事)

新 1 年生への説明についてご報告いたします。12 月 1 日から 3 月 3 日までの間、14 校、佐渡市中等教育学校を含む中学校 14 校の新 1 年生の入学説明会に学校教育課の職員が出向き、地域クラブ活動について説明をいたしました。資料ナンバー1 と 2 ページでは学校部活動についての簡単な説明を、2 ページでは地域クラブ活動の違いについて説明しました。

また、4 ページを用いて、令和 5 年度の写真を交え、スキップ型目の概要について説明しました。5 ページの一覧を用いて、エンジョイ型種目の概要を説明いたしました。この段階で、まだ申し込み方法等の詳細が確定していなかったため、6 ページで「4 月に詳細についてお知らせします」と説明を行いました。全ての学校において、保護者や子どもたちから大きな質問は出ませんでしたので、報告いたします。以上です。

(伊藤会長)

はい、ありがとうございます。ただいま事務局から新 1 年生への説明についてご報告がありました。皆様から何か質問、ご意見等ございますでしょうか。

(伊藤会長)

よろしいでしょうか。はい、もし後であればまたご質問いただきたいと思います。続きまして、報告事項の(2) 令和 5 年度佐渡市地域クラブ活動実績報告について、事務局から説明をお願いいたします。

(坂井社会教育課教育指導主事)

社会教育課教育指導主事の坂井と申します。よろしくお願いいたします。私から令和 5 年度佐渡市地域クラブ活動の実績報告を行います。

資料ナンバー2 をご覧ください。この資料は、前回第 3 回の 1 月の際に提示したものを基に、1 月、2 月、3 月の活動を元に追加修正した点を太字で記しております。

(1) 開催実績ですが、今年度は計 7 回を実施しました。

(2) 参加者数についてですが、スキップ型は前回のお申し込み以降、さらに 2 名増えて 191 名となっております。エンジョイ型は変更ありません。ただし、種目のスキーについては、予定していましたが 2 回とも雪不足のため実施できなかったという状況です。

(3) の指導者についても 116 名ということで、数値が増えています。参加者の反応としては、自転車や陸上、吹奏楽などで増加しています。

(1) の学校・教師の方々からは、教師の働き方改革や他校の生徒との交流、特に文化活動の場としてこのような活動を続けてほしいとの期待が寄せられています。

(2) の保護者からは指導者への高評価のお言葉を多くいただいております。他市町村では指導者への不満やトラブルが見られていますが、佐渡市では今のところそのようなことはなく、各競技団体へのこれまでの説明や研修がうまくいっていると考えています。

裏面 (3) 生徒についてはアンケート調査を行いましたので、詳しくご説明いたします。地域住民、特に指導者からは、自分が担当する種目の魅力を生徒に伝え、行事や活動人口を増加させたいという思いが強く見受けられます。

次に、アンケート調査の結果をご報告します。参加した際の「よかった点」として、スキルアップや専門的な指導を受けて達成感を感じていることがわかりました。また、過去の生徒や地域の方、指導者との交流に喜びを感じている様子も伺えました。中には、生涯学習や生涯スポーツにつながる感想を持つ生徒もいました。このようなことから、自分の好きなことや興味を見つけるきっかけになったことが分かったとのことでした。

一方、参加者が少なく実施できなかった種目や、過去の生徒との交流が十分にできなかった状況も見られました。また、残念ながらこの活動を知らなかったというアンケートの回答も 11% ありました。参加者を増やすために、ポスターの作成やお便りを通じて周知を図っております。また、中学校の入学説明会を利用して周知にも努めています。来年度については月 2 回の活動を予定しており、より多くの種目を増やして多様な活動が体験できるよう計画していきたいと考えております。実績報告については以上です。

(伊藤会長)

ありがとうございます。ただいま (2) の令和 5 年度佐渡市地域クラブ活動実績報告について事務局から説明がございました。今の報告について、ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

(伊藤会長)

よろしいですか。それでは、続きまして、議題の(3)に移らせていただきます。

議題(1) eスポーツ導入の検討結果について、前回にeスポーツがテーマでありました。その検討結果について事務局からお願いいたします。

(丹藤社会教育課佐渡学センター文化振興係長)

資料№3-1をご覧ください。前回会議内でeスポーツについて協議がされ、事務局としてメリットとデメリットを検討しました。eスポーツは、海外では勝敗を目的とせず、ゲームを通じたチームワーク能力や相手の思考の洞察を向上させることに取り組んでいることがわかりました。利点としては地域クラブ活動への参加率向上とけがのリスクが少ない反面、ゲーム依存症やうつ病などの精神面へ影響がある可能性も考えられました。

これらを考慮した結果、現在の事務局の検討結果として、県内の私立高校や専門学校では取り組み事例がありますが、中学校の部活としては未導入の状況です。また、教育活用はいまだ研究・データが少なく、指導者や機材の確保が難しいことから、eスポーツについては今回見送るという結論に至りました。しかし生徒たちの要望が強かったことから、引き続き他市町村の情報収集や企業等との連携も考えながら検討を続けていきます。

(伊藤会長)

ただ今、事務局からeスポーツ導入の検討結果について方向が示されました。事務局としては利点と欠点を示した上で、今回は見送るという提案です。これについて皆様からご意見、ご質問等ございますでしょうか。

(金子委員)

県内では私立高校以外での取り組みがないと記載されていますが、全国的な傾向についての調査は進められていますか。

(丹藤社会教育課佐渡学センター文化振興係長)

インターネットなどで調べたところ、東京や都市部では自治体の一部で活動が活発に行われていることがわかりました。しかし、目的や主体が異なるため、調査を進めて今後の参考資料にしたいと思います。

(伊藤会長)

その他、何かご意見がございますでしょうか。では、事務局からの提案は、今回 e スポーツについては見送り、今後市町村の情報を集め、企業との連携を考慮しながら検討を続けるというものでした。この提案に承認される方は拍手をお願いいたします。

参加者：(拍手多数)

(伊藤会長)

ありがとうございます。e スポーツ導入の検討結果について、事務のとおり承認することにいたします。それでは、議題の (2)、令和 6 年度佐渡市地域クラブ活動実施プラン案について、事務局から説明をお願いいたします。

(鶴間社会教育課課長補佐)

私の方から令和 6 年度佐渡市地域クラブ活動実施プラン（案）について、資料ナンバー3 の概要をお送りいたします。まず、このプランは令和 5 年度の内容を基に、令和 5 年 6 月 29 日に開かれた第 1 回の推進協議会で示されております。それを元に更新した形で提示させていただいております。

上部の目的、目指す子供の姿は、令和 5 年度と変わりありません。この目的を持って、子供たちの姿を目指して地域クラブを実施することになります。休日の学校部活動を佐渡市地域クラブ活動へ移行することが、今回の実施プランとなります。令和 5 年度は 9 月から始まりましたが、令和 6 年度は月 2 回に拡充して実施するプランでございます。

左側の表に記載の通り、国・県の支援を受けて、佐渡市教育委員会が運営主体となって実施いたします。佐渡市教育委員会の下に皆様方の推進協議会を置き、推進協議会で方針を決定していく形となります。運動クラブおよび文化クラブにそれぞれコーディネーターを配置し、専門的に実施していくことになります。

右側の表には、令和 5 年度の実施内容が記載されています。令和 6 年度は月 2 回の原則を設定しつつ、実施時期については柔軟に調整を行い、その地域クラブを行う週の学校部活動については実施を行わない形で学校にも協力をお願いしております。

具体的な種目については、スキップ型であるバスケットボールからバレーボールまでの 6 種目は今年度と変わりませんが、実施するスポーツ協会及び地区の競技団体と協力して実施することとなり、その会場についても若干の変更がある予定です。また、令和 6 年度にはエンジョイ型の実施についてはスポーツ協会にも協力をお願いしたいと考えております。

赤で示した種目は、令和 5 年度には実施していなかったもので、体操、ボルダリング、公式テニスなどを加えて実施していく意向です。参加者にとってはこれらのエンジョイ型の種目を選択できるよう配慮しております。

文化クラブについても、スキップ型は今年度と変わりませんが、吹奏楽はスキップ型で、他の新規種目を順次加え実施していく予定です。今の資料には誤りがあります。文化のエンジョイ型に「佐渡探求」とある部分が、誤って「求める」と記載されておりましたが、正しくは「研究」の「究」であります。この点をお詫び申し上げ、訂正をお願い致します。

令和 6 年度の活動プラン（案）については以上です。

（伊藤会長）

ありがとうございます。ただいま、令和 6 年度佐渡市地域クラブ活動実施プランについての説明がございました。特にエンジョイ型の種目が多くなっているとのことですが、1 日に 2 つの選択肢がある形でよろしいでしょうか。

（鶴間社会教育課課長補佐）

はい、そのとおりです。スポーツのエンジョイ型から 2 種目、文化から 2 種目を 1 日の開催日に選択できるようにする予定です。これにより、子供たちは自分の興味に合わせて選択することが可能となります。

（伊藤会長）

事務局から説明がありました赤字の部分の新規種目や、その実施について質問ご意見等ございませんでしょうか。

（金子委員）

要求に応じて、非常に良い取り組みだと思います。特に、赤字部分が増えていることに関して、確保できる見込みがあるのでしょうか。

体操などのエンジョイ型については、幅広い種目がありますが、具体的にどのような種目を想定しているのかお聞かせいただけますか。

（高橋社会教育課社会体育係長）

体操については、器械体操の種目で考えております。

（伊藤会長）

その他、ございますでしょうか。

（岩崎委員）

4月になって令和6年度の具体的なお知らせを行いますが、どのようにその周知を行う予定でしょうか。

（高橋社会教育課社会体育係長）

最終的には実施種目や会場を決定し、4月10日を目処に募集要項を配布させていただく予定です。その後、4月末までに募集を終了し、5月26日からの実施を予定しています。

（岩崎委員）

募集方法についてですが、学校を通じて募集を行うのか、ポスター等で直接子供たちが申し込む形になるのか、その詳細について教えていただけますか。

（鶴間社会教育課課長補佐）

募集の要項配布は学校から生徒への配布をお願いしたい。また、申し込みは基本的にQRコードから行えるようにする予定です。QRコードが使えない家庭には、学校を通じて紙の申し込み用紙を提出していただくこととなります。

（池田委員）

前回の時に、各団体も半年ほどやって来たので、実態が実際どうなのか、困ったことがないか、要望とかないかという聞き取りをお願いしたいということでしたが、この結果、例えばここで困っていると、こんな風にしたいとか、そういうのはあったんでしょうか。それを踏まえて、これが修正されていることも含めて質問をお願いしたいと思います。

(高橋社会教育課社会体育係長)

来年度の実施に向けて、各指導していただいている協会さんであったり団体さんであったり、皆様に意見交換を設けさせていただきまして、今年度実施した中の感想であったりとか課題であったりとか、そういうものをお聞きしました。そういういただいたご意見も組んだ中ですね、今、来年度の計画を考えているところでございます。

(丹藤社会教育課佐渡学センター文化振興係長)

文化についても、団体の意見を伺って計画に反映しているところです。

(池田委員)

ここに示されている、例えば実施主体団体バスケットボール協会さん、ウインドアンサンブルさん、来年の例えばこの日程でやりますよ、大丈夫ですよ、この会場でオッケーですよっていう、確認はとられているのでしょうか。

(高橋社会教育課社会体育係長)

各協議団体さんからはこの日程で大丈夫ですよっていうような、会場も含めて、一応回答は協議団体の方はいただいているところです。

スポーツの一部、野球、卓球あたりは、各地域のクラブに依頼したっていう部分は、一部まだ調整してる部分もございますが、それ以外は決定しております。

(丹藤社会教育課佐渡学センター文化振興係長)

文化についても、講師の方については今の段階での日程を示してご了承いただいております。また、会場については、各種目が決定しだい調整していきたいと考えております。

(伊藤会長)

皆様のご意見ありがとうございました。それでは、令和 6 年度の地域クラブ活動実施プラン（案）について承認される方は拍手をお願いいたします。

参加者：(拍手多数)

拍手多数で承認されました。

次の議題に移らせていただきますが、その他の事項がございましたらどうぞ。

（高橋社会教育課社会体育係長）

私の方から SEA について紹介させていただきたいと思います。皆様のお手元に「SEA」についてという資料があると思いますので、こちらをご覧くださいと思います。 よろしく願いいたします。

SEA とは、括弧の中にあります通り、スポーツエクスチェンジアドバイザーのことです。

スポーツ国際交流員のことで、これについては、語学指導等を行う外国青年招致事業として地方自治体が、総務省、財務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会の協力のもと、実施するものです。

現在、佐渡市でも調整を進めているところでございます。この SEA ですが、新潟県内で初の導入という流れになります。他の自治体では、北海道や宮城、山形県などでもこの取り組みが行われています。

佐渡市での活用方法としては、まず佐渡市の地域クラブ活動で専門的な技術指導を行っていただきたいと考えております。

また、佐渡市の地域クラブ活動や市内のジュニアスポーツクラブの指導者向けの指導研修も行い、市内の競技力向上につなげたいと考えています。また、この保育園や幼稚園児を対象に、スポーツを通じた国際交流の推進を図っていききたいと考えております。加えて、国際交流イベントやスポーツイベントなど、いろんな面で活用していきたいと考えております。

現在、競技種目については、バスケットボール、野球、バドミントンの3種目でお願いしているところです。この後のスケジュールですが、5月頃にある程度内示があり、8月頃には佐渡に派遣いただけるような流れで、秋頃から活動を開始したいと考えています。

この資料の裏面をご覧くださいと思います。先進地の事例として、こちらが北海道の東川町に関する資料になります。先月、2名ほど職員が東川町に視察に行ってきました。その時にいただいた資料がこちらになります。

現在、東川町では4名のSEAの方が来ており、リュウさん、アレックスさん、ロビンさん、ガンさんの4名がいます。それぞれ卓球や野球を指導されています。

この方たちは、指導者の中でもかなり上の資格を持った方々で、専門的な指導ができる方々です。実際、北海道において、東川町以外にも白町というところがあり、そちらではバドミントンの SEA の方がいて、子どもたちの中からバドミントンで全国大会出場や優勝選手も出たりしています。

この後も活動を進めていくには、佐渡に来ていただいたこの SEA さんにおいて、地域に密着しつつ、生活に不自由ない体制を整えることが重要だと考えております。

とにかく住みやすい環境を整え、活動を進めていきたいと考えています。

(伊藤会長)

SEA の話がございましたが、何かご質問ございますでしょうか。

(金子委員)

日本語も堪能なんですか

(鈴木教育次長) 参加者 2 37:35

はい、条件としては、日本語もしくは英語を話せる方々が参加していますので、日本語ができる方や英語が堪能な方などがいらっしゃいます。事務方としても、そこには対応が必要と考えており、来年度から通訳も兼ねたコーディネーターを設置する方向で検討しています。

(金子委員)

活動現場にいても、そこで理解できない方がいると使えるものが使われないことになりますよね。

(鈴木教育次長)

この東川町では、このリュウさんという中国の方が、かなり日本語が堪能です。どの程度になるかまだ私も分かりかねますが。

(岩崎委員)

事業の見通しは何年とお考えでしょうか。

(鈴木教育次長)

一応契約は1年単位ですので、1年を見ていただき、ALTと同様にそこから延長していく形になると思うので、大体3年程度になるだろうと。ただ、それも本人たちの希望によります。

(岩崎委員)

せっかくの事業ですので、短期間で終了にならず、ずっと続けられるようにしていただきたいと考えますが。

(鈴木教育次長)

佐渡に馴染んでいただけるような、受け入れ側の体制としても、指導だけでなく、地域の行事にも積極的に参加していただけるようサポートしていきたいと考えています。

(伊藤会長)

その他、ご意見はございますか。

(長尾委員)

はい、非常に素晴らしい取り組みだと思います。特に、ここに上がった3種目で、いろんな会場があり、なるべく定期的に回れる形を作り、指導いただけることの理解でよろしいでしょうか。

(鈴木教育次長)

できるだけばらつきなく、まずは見ていただきたいです。初めての取組ですので、状況を見ながら、場合によっては平日の部活にも顔を出していただけるようにしたいと考えています。

(岩崎委員)

この事業について、市民への理解やスポーツ関係者への周知はどのようになっているか。

(鈴木教育次長)

一応議会の方でもご質問いただき、答弁も行っています。

市長会見などでもお話ししているところです。先日、メディアの方にも情報提

供させていただきました。

まずは、来ていただいた際に、東川町の概要などを佐渡の方でも紹介し、島内の方々への理解を図っていきたいです。様々なイベントや文化活動等を企画し、参加を通じて理解を深めてもらいたいと考えています。主にこの佐渡市の地域クラブ活動を主な活動として進められればと思っていますが、ジュニアスポーツクラブや平日の部活動等への展開も徐々に開拓していきたいと考えています。

(岩崎委員)

最も大事なのは指導者の方々とのコミュニケーションと相互理解です。ここがうまくいかないと、結局実績が残らないことに繋がりますので、よろしくお願いいたします。

(伊藤会長)

今の事務局から SEA について説明がございました。その他に何かご意見や質問はございますか。

(池田委員)

地域クラブ活動について、ホームページを見ました。申し込みについてもありましたが、参加者側の立場でもう少し見やすくできるのか、活動内容を紹介するような、まとまったりしているようなものがあれば良いのではないかと思います。

中学校では、クラブ活動の紹介時に必ず実演をしたり、紹介をしたりしますが、それも含め、年間予定なども準備してほしいです。

各団体の立場から紹介するようなページがあったり、サイトができると、子どもや保護者の方にも理解が深まるのではないかと思います。すぐにはできないと思いますが、各団体の了承も必要だと思いますので、実現できると良いなと考えています。

(鈴木教育次長)

まさにそれをやりたいと思っているところです。今年度は月に 1 回程度の実施でしたが、次回からは増えていきますので、必要であれば、各団体との話合いも進め、団体にとってもメリットがあると思いますので、引き続き検討していくつもりです。

（伊藤会長）

他に何かございますか。

（香遠教育長）

学校現場の様子もお聞かせいただきたいのですが、今年度からクラブチームとして中体連の大会に参加することになったと聞いております。3年生の中学生で、それに該当するのはバドミントンだけでしょうか。

（岩崎委員）

その通りです。

（香遠教育長）

場合によって支障があったということはありませんか。

（岩崎委員）

中体連にはそういった支障は確認できておりません。事前に学校と地域クラブどちらで大会に出るかをしっかり判断して出場していただいたと思っています。問題ないかと考えています。

（香遠教育長）

それでは良かったですが、心配は必要ありませんか。令和6年、7年についてはどうでしょうか。

（岩崎委員）

令和6年度中体連に参加が認められたクラブについては、教育委員会の方に報告済みです。12チーム中、バスケットボールの2チームは参加規定に合致しないため、1つの地域クラブのみが出場可能とされています。しかし、バスケットボールの2チームについても、今後部活動として認められれば、6月の中体連には参加できるかもしれません。

所属する12の地域クラブの参加状況からは、中学生が何らかの形でクラブに参加していることが分かります。中学校の校長会からも、中体連大会への参加が学校部活なのか地域クラブなのかしっかり確認するようお願いしました。

（伊藤会長）

拝見済みですが、バレー、水泳、剣道、バスケットボールあたりが該当すると思います。

（長尾委員）

部活動をしながら地域クラブにも参加している子どもたちがいる状況ですので、子どもたちの希望を把握しておかないと大会出場に支障が出る可能性があります。どのような状況になるかは、まだ見通せていません。

（伊藤会長）

はい、他に何かございますか。

（岩崎委員）

地域クラブについて、令和6年度は12クラブと伺いましたが、今後地域クラブが増える傾向にあると考えています。

佐渡市の教育委員会としては、方針に賛同し協力してくださる地域クラブには手厚く支援していくかと思いますが、ぜひ自分たちで設立したクラブにも何らかの支援があると良いと思います。

（伊藤委員）

他に何かございますでしょうか。

（宇治委員）

いただいていた意見について共有させていただきます。保護者の意見として、部活動が4月から始まる中、補助金の開始が5月となるため、懸念があるという声がありました。

また、地域クラブ活動の開始に伴い、施設の予約が必要となるケースが増えていくと思います。可能性として、市民の中で取り合いが生じるかもしれませんので、そのような点にもご配慮いただければと思います。

また、エンジョイ型の活動についてですが、レクリエーションとして割り切るのか、興味を持った子どもたちを支援していくのかという点で意見がありました。

興味を持った子どもたちのその先までフォローできるよう、文化活動で講座や

教室を紹介する形が推進に繋がると思いますので、今後の実施プランの中で参考にしていただければと考えています。

（伊藤会長）

他に何かございますでしょうか。

（伊藤会長）

では、今回の協議会はここで終了といたします。

本日はお集まりいただき、ありがとうございました。これをもって議事を終了いたします。

（濱崎学校教育課課長補佐）

伊藤会長、スムーズな議事進行、ありがとうございました。委員の皆様からの貴重な意見もありがとうございました。

では、5 番の閉会について、長尾副会長からお願いしたいと思います。

（長尾副会長）

本日は年末のお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。来年度、佐渡市の地域クラブの活動実施プランが具体的に示されていますが、ここにおいて、生徒たち、子供たちが将来にわたってスポーツや文化に親しむことが大きな目的であると思います。

今年度から、来年度にかけては月に 2 回の活動という形で、今年度よりも一歩進むかと思っています。活動を進める中で予期しない課題も出てくるかもしれませんが、一つ一つ解決しながら、子供たちがスポーツや文化に親しめる活動を実現したいと考えています。

ぜひ、今ご紹介した SEA の活動も含めて、子供たちにとって良い活動になるよう、今後ともご協力いただければと思います。本日はありがとうございました。

（香遠教育長）

今年度最後の協議会も無事に終了しましたので、一言お礼を申し上げます。委員の皆様には今年度 4 回にわたりご意見いただきました。おかげさまで地域の段階的な移行初年度を無事に迎えることができましたし、本日は次年度に向けての活動実施プランについてもご承認いただきました。本当にありがとうございます。

いました。ご欠席の方もいらっしゃいますが、役職で委員になっている皆様にもお礼申し上げます。

本当に1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(濱崎学校教育課課長補佐)

はい、ありがとうございました。来年の集会につきましては、再度お声がけするかもしれませんが、その際はよろしくお願いいたします。

これをもちまして、令和5年度第4回地域クラブ活動協議会を終了いたします。大変お疲れ様でした。ありがとうございました。